



平成28年8月9日

各位

上場会社名 株式会社フーマイスターエレクトロニクス
 代表者 代表取締役社長 武石 健次
 (コード番号 3165)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 藤田 和弘
 (TEL 03-3254-5361)

通期業績予想の修正及び営業外収益(為替差益)の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	93,000	200	400	260	105.63
今回修正予想(B)	77,000	△900	△500	△330	△134.07
増減額(B-A)	△16,000	△1,100	△900	△590	
増減率(%)	△17.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年9月期)	105,726	834	1,343	874	355.33

修正の理由

平成28年9月期第3四半期累計期間におきましては、当社が参入しております電子部品業界は、車載用途向け電子部品の市場は堅調を維持しているものの、スマートフォン市場の伸びが鈍化しております。このような環境の中、スマートフォン向け半導体の売上減少傾向が続いたことに加えLCDモジュールの売上も減速しました。この結果、売上高は645億16百万円(前年同四半期比14.6%減)となり、円高等に伴う採算悪化により営業損失が4億34百万円(前年同四半期は営業利益7億79百万円)発生する見込みです。為替差益(4億81百万円)の発生により、経常利益は70百万円(前年同四半期比94.2%減)、四半期純利益は42百万円(前年同四半期比94.5%減)となる見込みです。なお、営業外収益(為替差益)の計上につきましては、主に外貨建て債権、債務の期末為替レートによる評価替えで発生したものであります。

平成28年9月期通期業績予想におきましては、第3四半期会計期間以降スマートフォン向け半導体やLCDモジュールの売れ行き減速が見込まれるため、売上高は前期比27.2%減の770億円を予想しております。営業利益は売上減少に加え、円高の影響も受けることが予想されるため大幅に減額し、営業損失9億円(前期は営業利益8億34百万円)となる見込みです。また、経常利益及び当期純利益とも大幅な減額を予想しており、経常損失5億円(前期は経常利益13億43百万円)、当期純損失3億30百万円(前期は当期純利益8億74百万円)となる見込みです。なお、スマートフォン関連製品の販売状況や為替相場の動向がより明確になり、業績予想を見直す必要が生じた場合は、適時に見直し数値を開示する予定であります。

(注)本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上